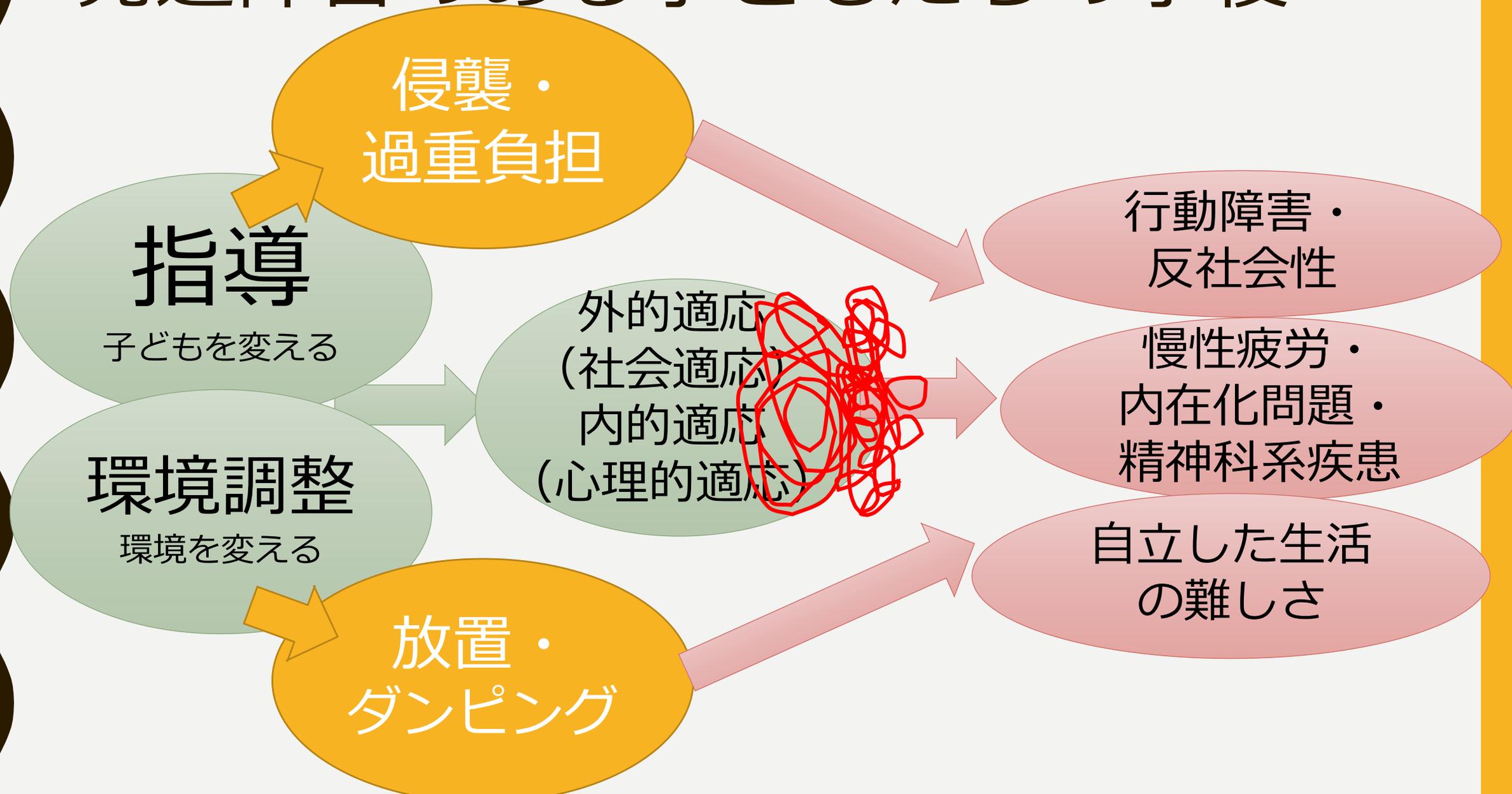


— 通級による指導
は逆効果？ —

特別支援教育
のジレンマ

発達障害のある子どもたちの予後



現場の声

< ポジティブな声 >

- 通級や児童デイに通い始めて、子どもが変わった。
- 子どもの気持ち安定した。息抜きの場所や楽しい場所が増えた。
- 担任の先生や支援者も一生懸命対応してくれるようになった。
- 相談できる場所が増えた。相談に乗ってくれるので助かる。
- 宿題を見てくれるのいで、家での勉強が楽になった。 ...

現場の声

< ネガティブな声 >

- 通級や児童デイに通っても，何を学んでいるかわからない。
- 親も先生に指導されてててしまう，怒られてしまう。暗い気持ちになる。
- 都合の良い時に見てくれない。学校の都合があるから，授業を休んだり，放課後に通ったりする負担が大きい。
- 先生にも当たりはずれがあって，年度ごとに一喜一憂してしまう。
- 子どもが行きしぶる。嫌がる。周りの目が気になる・・・

特別な支援の爆発的増加

- 通級指導教室（学校教育サービス）
特別支援教室，学びの教室，ことばの教室...
- 児童デイサービス（福祉サービス）
児童発達支援，放課後等デイ

自立活動やソーシャルスキルにかかわる学びは 子ども自身の自己価値にかかわる問題である

【発達障害の観点からは】

- 自然には学びにくい
模倣やモデリングの欠如
社会的動機の低さ
他者の反応や評価の
取入れなさ
- 上手く遂行できない
不注意，衝動性
注意共有や心の理論の弱さ
切りかえの弱さやこだわり
2次的な情緒の問題

スキルの
学びを
保障
しなければ

【大人側からすれば】

- 社会性に関する課題は多くが暗黙（ヒドゥンカリキュラム，教科書・テキストがない）
- 困った大人，先生が支援を押し進めていくが，拒否する子どもや親
- 子どもの自立が心配
- 早く支援せねば
- 学級経営で困る存在？

子どもの
動機づけ
や
自己理解
が
難しい!!

【子どもの立場からは】

- 支援が一方的であればあるほど，支援や大人が嫌な，脅かす存在に（回避対象）
- 防衛するために武装する（攻撃性）
- 防衛するためにカモフラージュ（普通への固着）
- 過剰適応
- 更なる自尊心の低下
- バーンアウト

逆効果？
子どもの傷を深める？
居場所づくりだけで終わってしまう？

→ 学びそびれ現象

学びにくさ (ASDの視点からは)

- 他者と共有する (視点, 感情, 意味, 考え, 経験) [Joint Attention ジョイントアテンション](#) 
- 他者を取り入れて, 判断する [Social referencing 社会的参照](#) 
- 他者の心を理解する [Theory of Mind こころの理論](#)
- 様々な社会的刺激を取捨選択し, 統合し, 理解する [Central Coherence 中枢性統合](#)
- 考えや気持ちなどを切り替える [Cognitive flexibility 認知的柔軟性](#)
- 他者と仲良くなったり関わろうとする [Social Motivation 社会的動機づけ](#)



→ 学びのねじ曲がり現象

学びにくさ (ADHDの視点からは)

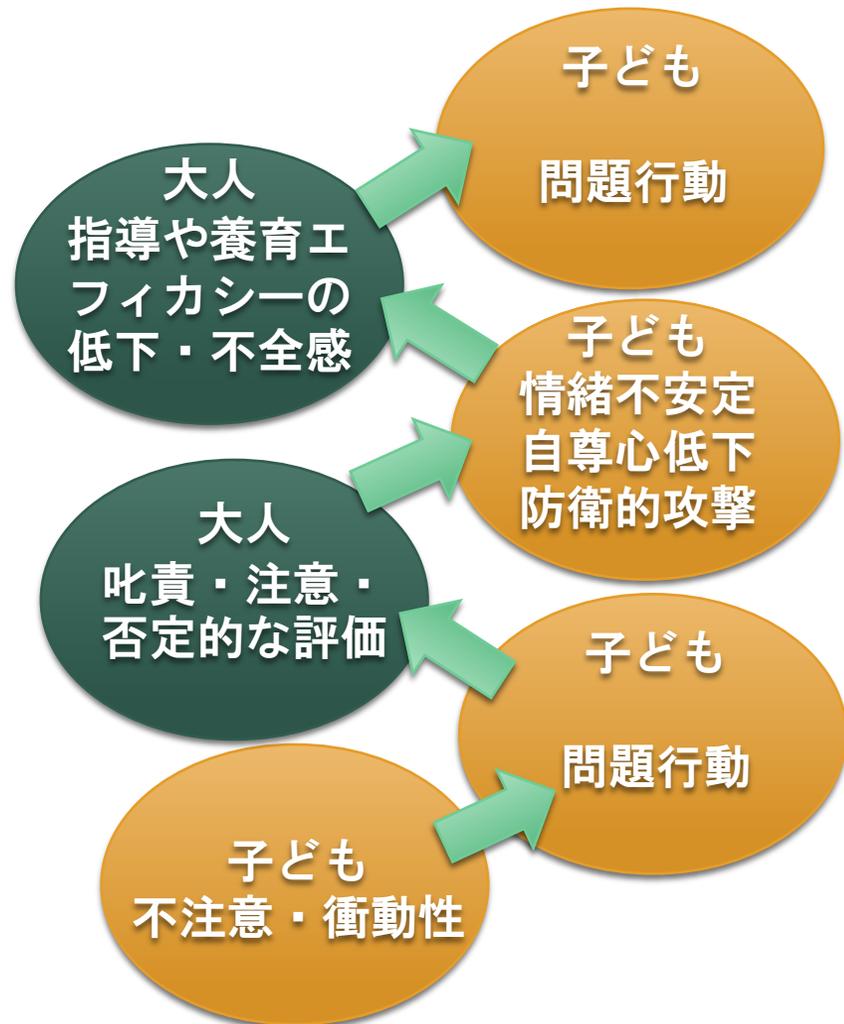


大人の見えやすいもののランキング

1. 子どもの問題行動
2. 大人の対応の問題
3. 問題の背景にある子どもの障害特性
4. 大人のエフィカシーの低下（不全感）
5. 子どもの情緒的問題
6. これらの悪循環

※ あくまでも個人的な見解です

学びにくさ (ADHDの視点からは)



どこで悪循環を断ち切るのか？

1. 子どもの問題行動
2. 大人の対応の問題
3. 問題の背景にある子どもの障害特性
4. 大人のエフィカシーの低下（不全感）
5. 子どもの情緒的問題

支援で大事にするもの

- 子どもの実態把握

客観的理解と主観的理解, 包括的アセスメント, 背景にある障害特性の把握

- 子どもの心理を大切にする

動機づけ, 自己理解, 自己価値, 子どもの主観・主体, 変化や成長への見通し

- 時間をかけて丁寧に学びの場を提供する

個別と小集団での学びの保障, クラス集団や日常への展開

- インフォームドコンセントと自己理解の支援

- 支援者のスキルアップ, 学びあいのネットワーク

発達障害を対象にした通級指導教室における ソーシャルスキルトレーニングの効果の検討 学すべき課題の自己理解，通級時間数に焦点を当てて

In 臨床心理学,
20(3), 339–347.
2020年

岡田 智¹⁾・山下公司²⁾・岡田克己³⁾・森村美和子³⁾・中村敏秀⁴⁾

1) 北海道大学大学院教育学研究院

2)

3) 札幌市，横浜市，東京都 公立小学校

4)

本研究は，発達障害を対象にした通級指導教室における小集団ソーシャルスキルトレーニングの効果的なあり方について探るために，4カ所の通級指導教室の1年間の実践について調査した。指導前と指導後の2時点において，在籍学級の担任が，児童の状態についてソーシャルスキル尺度を用いて評価した。また，通級指導教室の担当から，児童の学すべき課題の自己理解の程度，児童の通級時間数などを聴取した。182名の児童の情報が収集された。結果，事前評価から事後評価にかけて，集団行動，セルフコントロール，仲間関係スキル，コミュニケーションの4つの下位尺度すべてで得点が有意に上昇しており，通級児童のソーシャルスキルの向上が確認された。また，相関分析および分散分析の結果からは，自己理解および通級時間数が児童のスキル向上に少なからず関係していたことが示された。これらの結果を踏まえ，今後の通級指導教室におけるSSTの在り方について考察した。

キーワード：ソーシャルスキルトレーニング，通級による指導，学すべき課題の自己理解，指導時間数

東京都，横浜市，札幌市の通級で行った調査 1年間の小集団SSTの効果の検討

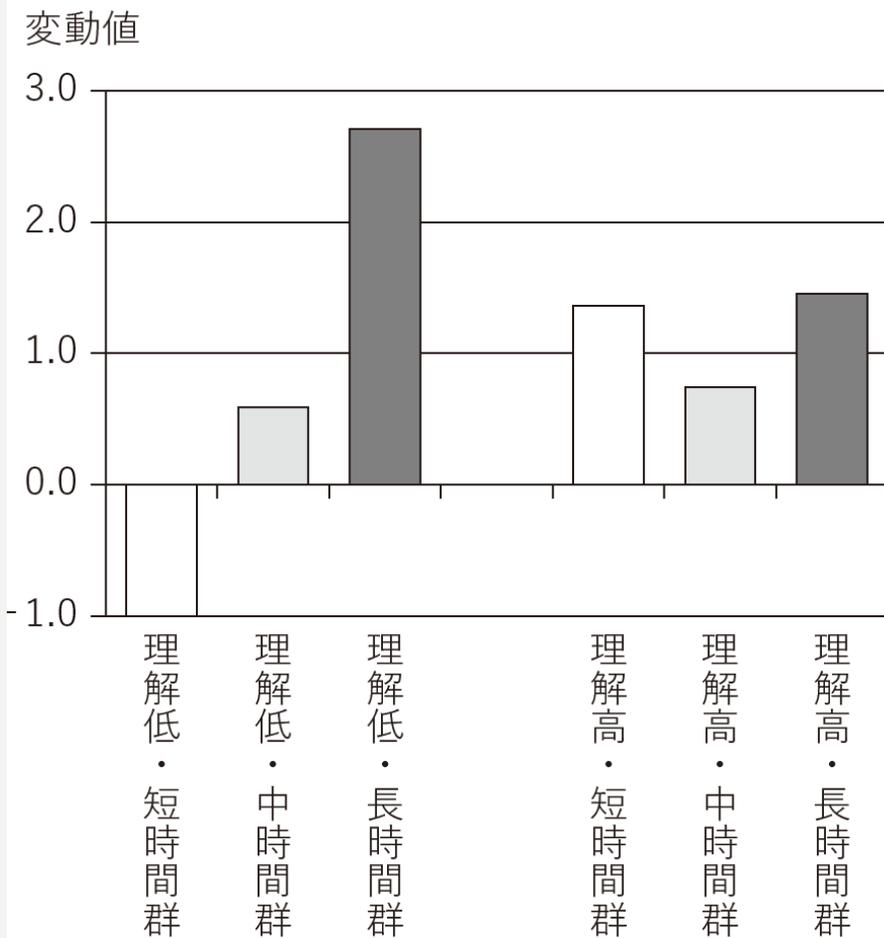


図1 各群の集団行動変動値

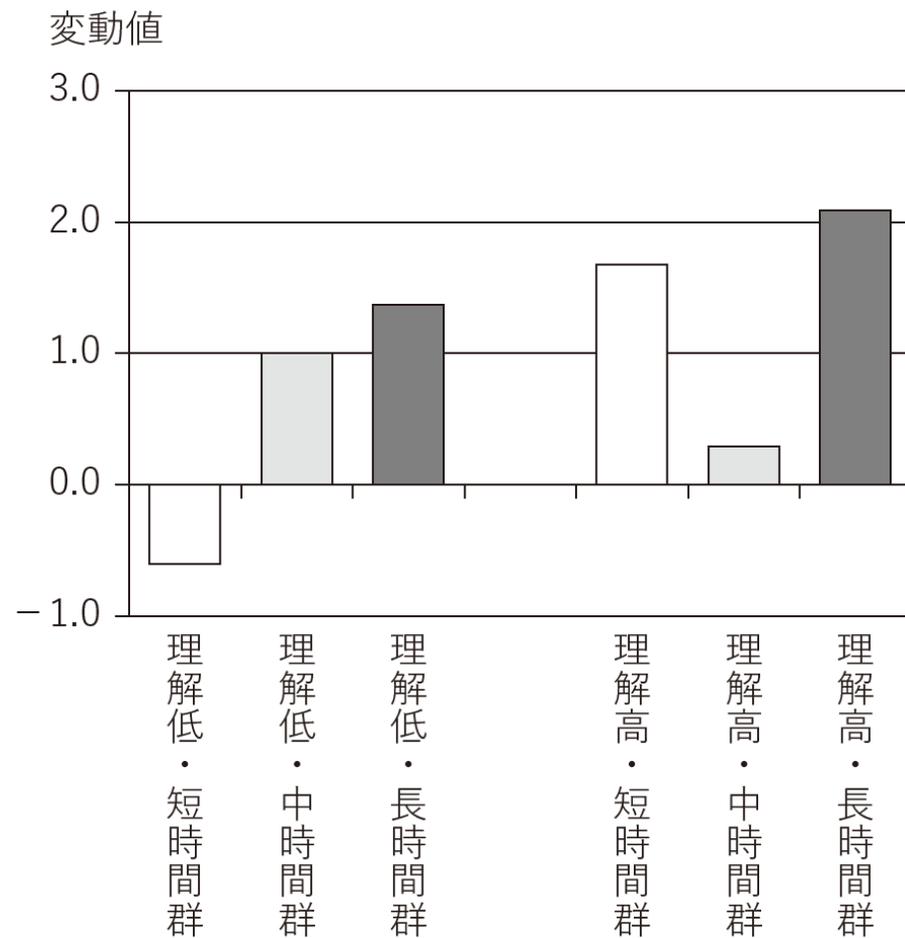


図2 各群のセルフコントロール変動値

変動値

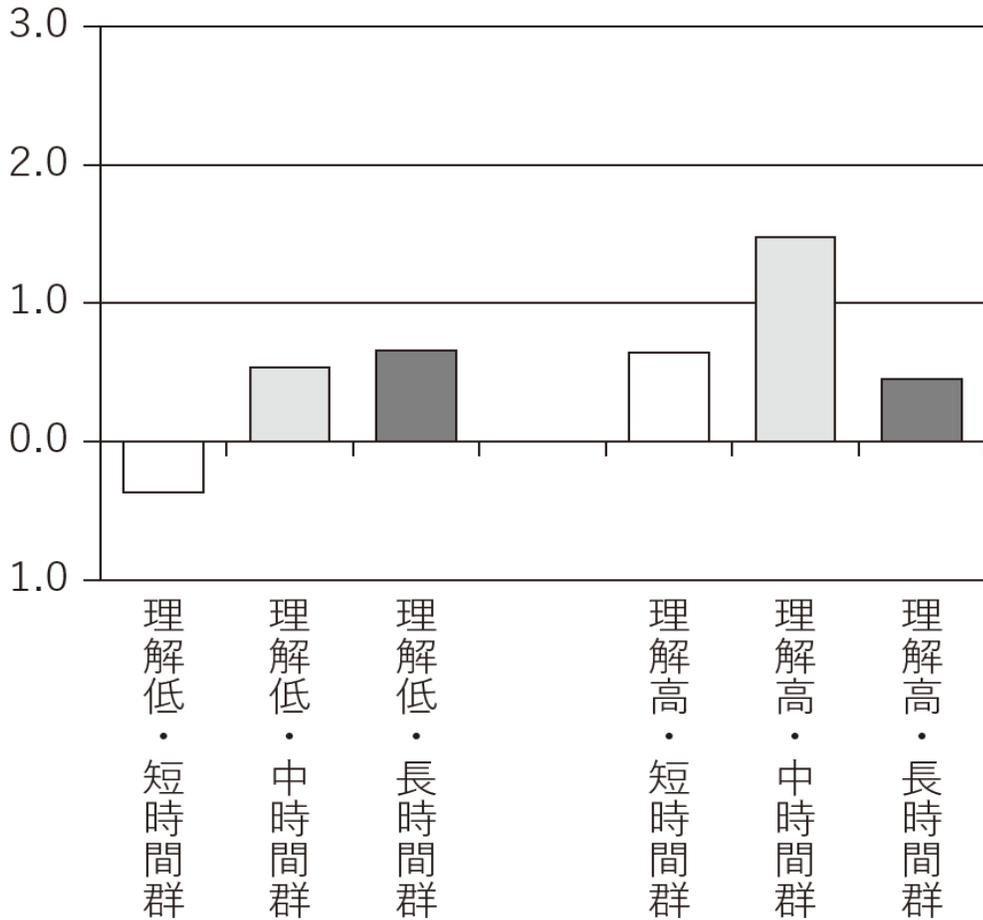


図3 各群の仲間関係スキル変動値

変動値

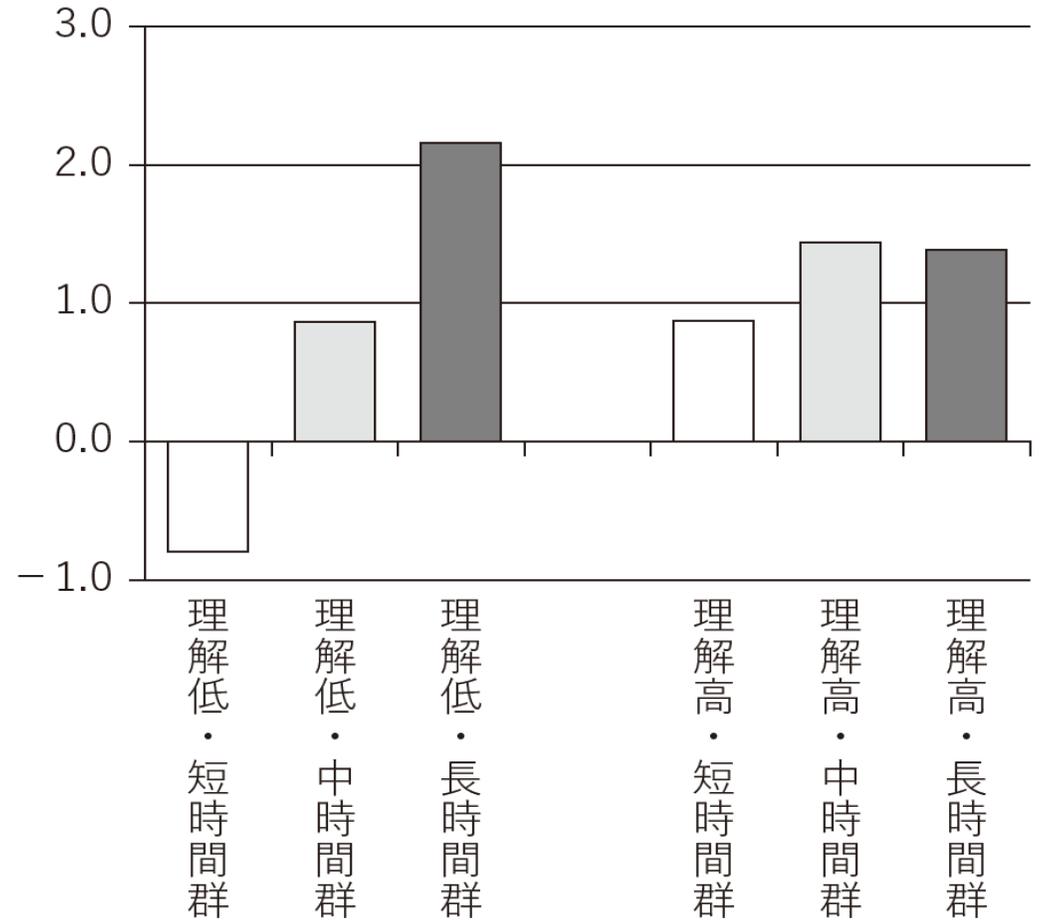


図4 各群のコミュニケーション変動値

岡田・山下・岡田・森村・中村（2020発達障害を対象にした通級指導教室におけるソーシャルスキルトレーニングの効果の検討：学ぶべき課題の自己理解，通級時間数に焦点を当てて）

<https://eprints.lib.hokudai.ac.jp/dspace/handle/2115/79232>

調査からも垣間見える課題

- 小集団SSTは短時間通級（週1時間以内）ではあまり効果はない。むしろマイナスになる可能性も。
- 小集団，個別の指導を組み合わせてることができる時間数の（週2時間以上）の指導が有効。
- 動機付けや自己理解の指導を組み合わせてすることが大事。
- SSTは友人関係形成，友達作りにはあまり効果を発揮しない？
通級指導の場で，良質な仲間関係を構築しても，日常の場では般化しにくい。
- SST実施者（通級担当教員）は10年以上，学びあい，それぞれの実践を共有してきた。また，情緒障害教育の先達や仲間からの学びを受けてきた。情緒障害教育の教師としてのキャリアパスを描いてこれた者たちである。最近，特別支援の拡大とともに，その学びの文化も維持できなくなった。

うまくいく人とうまくいかない人がいることは確か

ジレンマを乗り越えるために
我々が問うべきこと

- 子どもの困難の状況を問う
- 支援の出発点を問う
- 支援システムを問う
- 支援者のスキルとキャリア形成を問う

子どもの困難の実態を問う

- ① 自閉症スペクトラムの困難に起因する難しさ
- ② セルフコントロール（衝動性コントロール）の問題
- ③ 不適切養育や逆境経験
- ④ 知的水準の状況で異なる支援方法，進路，予後

出発点を問う

① 表現しにくさ

- ・ 素直に言葉で困りを表明できる子どもはかなり少ない。
- ・ 子どもの訴え ⇒ 問題行動, 反抗・反発, 身体や情緒に現れる。
- ・ そもそも子どもは言語能力, コミュニケーション能力が発達途上である。

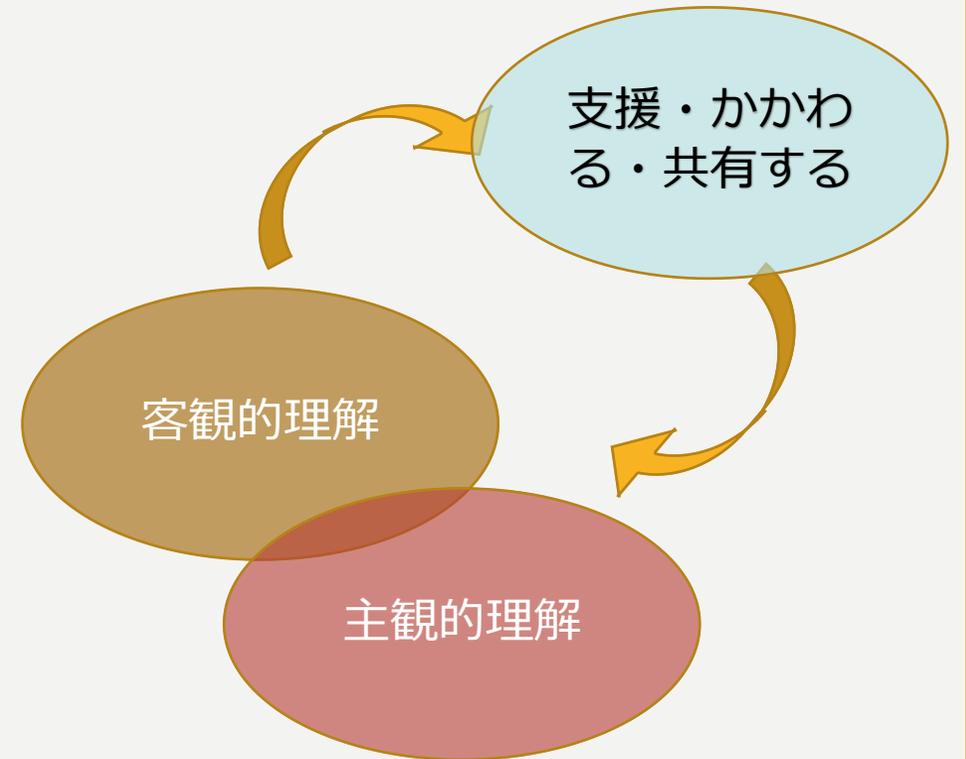
② 自己価値・自尊心の問題

- ・ 支援の出発点は「子どもの問題」や「子どもの問題についての親の心配」から。
- ・ だれしも自分の欠点や問題, 困難な部分を直視できるわけではない。
- ・ 障害や困難のある子どもたちは他の誰よりも早く, 自身のマイナス点にさらされる。

③ 均一性, 相互協調性, 同調を求める社会

支援者の専門性を問う

- 実態把握アセスメント 個をみる力
- 支援スキル 個にかかわる力
- 省察的実践
- 学びのネットワーク



支援システムを問う

- 同質性や協調性（忖度，空気を読む，同調）が望まれる教育文化の中で，
生きている子ども達
- インクルーシブな社会と神経学的多様性（ニューロダイバーシティ）
- ダンピング問題 と 子どもたちが学ぶべきこと
- ベテラン支援者の不足，専門性の低下

支援の意味を問う

- 子どもにとっての意味
 - 親にとっての意味
 - 支援者にとっての意味
 - 社会にとっての意味
 - 支援の入り口で
 - 支援プロセスの中で
 - 支援の総括のときに
- 何をもって効果というのか。

①上野一彦・岡田智編著「特別支援教育 実践 ソーシャルスキルマニュアル」2006年 明治図書

②岡田ら編著「特別支援教育 ソーシャルスキル実践集」2009年 明治図書

④ 岡田智・森村美和子・中村敏秀著「図解ソーシャルスキルトレーニング(SST) 事例集」2012年, ナツメ社

⑤岡田・中村・森村・岡田克己・山下公司「CD-ROM付 ソーシャルスキルトレーニング(SST)実践教材集」2014年, ナツメ社

⑥岡田編著「暗黙のルールが身につくソーシャルスキルトレーニング(SST)カード教材集」2016年 ナツメ社

⑦岡田智・愛下啓恵・安田悟編著「社会性・情緒・セルフコントロールを育む！ 幼児と小学校低学年のソーシャルスキル —就学前・就学後のアセスメントと活動アイデア—」2021年 明治図書

⑧ 加藤弘通・岡田智「はじめに読む 発達心理・発達支援の本」ナツメ社

